



第97号  
2016年2月18日発行  
三輪田学園中学校高等学校  
発行 入試広報室  
千代田区九段北 3-3-15  
Tel. 03(3263)7801

## 中学入試終わる 応募者微増で堅調な入試に

2 / 1 試験当日の校門

平成28年度中学入試は、晴天のもと無事に終了し、新三輪田生を迎えることができました。

昨年度入試から入試日程が変更になり、2月1日・2日・4日（すべて午前）になりましたが、応募者総数は昨年より増加し684名となり、応募倍率は約4倍、受験者数から見た実質倍率は2.1倍と、ほぼ昨年と同様でした。



昨年度は2月1日が日曜日であったため、今年度は受験生の仕方が変化したようです。そのため、2月1日の入試は昨年より応募者が若干減少しましたが、2日・4日での応募者が増加し、全体での応募者数微増となりました。結果的には堅調な入試であったといえると思います。吉田校長の「第一志望の受験生を大事にしたい」との言葉通り、第1回では多めの合格者が発表され、喜ぶ受験生の姿が多く見られました。第1回の合格者の入学率が8割を越したのも、このためと思われます。また、今年度は合格者保護者会後の辞退者が少なく、繰り上げ合格がなかったことも特徴的でした。

2月11日の制服採寸や学用品販売の日には、校長・教頭・校務の教員とのミニ面談が行われました。これは、面接を廃止した代わりに、入学前にご挨拶をしたいという吉田校長の発案から。「当日はお待たせしてしまって申し訳なかったのですが、新入生からは中学生になっての抱負や意気込みを聞くことができ、また、保護者の方のご要望も聞くことができ、大変よかったです。面接がなくなっても、三輪田ファンの親御様は変わらないと実感しました。」と吉田校長は話していました。

### ◆平成27年度入試 応募者・受験者・合格者◆

回	第1回			第2回			第3回	計
	2科	4科	計	2科	4科	計		
定員	92 (帰国生含む)			55 (帰国生含む)			25	172
科目	2科	4科	計	2科	4科	計	4科	
応募	29	158	187	36	228	264	233	684
受験	27	149	176	19	108	127	71	369
合格	21	113	134	12	75	87	38	258

## 特集

# 平成28年度入試報告



### 得点や内容に関して

応募の面に関しては堅調だった今年度入試。得点状況などはどのようなようだったのでしょうか。3回とも、合格のためには65%~70%の得点が必要だったことは、昨年と変わりませんでした。しかし、今年度は算数の得点率が昨年より低く、国語が得意な受験生の方が多かった様子です。国語に関しては、例年通り3回とも長文が1題出題されました。第1回は物語文で赤澤竜也作『吹部!』より出題。合格者平均は67.2点でした。第2回はヤマザキマリ作の随筆『国境のない生き方~私をつくった本と旅』。明快な文章でわかりやすく、合格者平均は79.2点になりました。第3回は説明文で榎本博明著『自分らしさって何だろう?自分と向き合う心理学』より。設問自体はそう難しくなかったのですが、心理学の題材なので、受験生によっては取っつきにくいところがあったのでしょうか。合格者平均は70.3点でしたが、全受験者平均とは10点近く開きができました。また、算数は昨年からレイアウト変更され、式点をもらえる応用問題の増加など、受験生にとって有利な点が増えました。このため、特に第3回は合格者平均が68.0点となり、満点の受験生もありました。しかし、基本問題をしっかり抑えて勉強することが大切です。

理科・社会の合格者平均点も60%程度と、昨年に比べ高くなりました。理科は物理・化学・生物・地学の4分野からまんべんなく出題されます。社会では、今年度は思考力・判断力を図る問題を出题しました。これらの問題は問題文をよく読み、自分なりの考えを持たないと正解にたどり着きません。また、社会も地理・歴史・公民の3分野から出題されますので、日頃からの意識付けがポイントです。

2月1日玄関前の風景



### ◆各回の合格者の平均得点など◆

	第1回 2月1日		第2回 2月2日		第3回 2月4日	
	2科生	4科生	2科生	4科生	4科生	
最高点	155.0	184.0	166.0	194.0	247	
最低点	115.0		118.0		170	
2科平均点	133.5	129.9	134.7	147.9	138.3	
4科平均点	—	134.0*	—	148.0*	203.0	
	最高点	平均点	最高点	平均点	最高点	平均点
国語 (100)	93	67.2	99	79.2	89	70.3
算数 (100)	94	63.2	98	66.9	100	68.0
社会 (50)	47	33.3	41	29.2	47	33.7
理科 (50)	45	34.2	43	29.3	46	31.0

\*第1回・第2回の4科生は300点満点の得点を1.5で割ったもの

## 第五福竜丸講演会

大石さん（右）と市田さん

1月22日、中学2年生を対象に、元第五福竜丸乗組員・大石又七さんをお招きした講演会を行いました。第五福竜丸は、1954年、アメリカがビキニ環礁で行なった水爆実験で被爆してしまったマグロ漁船です。大石さんは二十歳になる直前にこの船に乗り組み、死の灰を浴びました。ご自身の病気をしておして、ビキニ事件の証言者として各地で講演をなさっています。三輪田学園では10年以上前から、平和学習の一環として、大石さんのお話を伺っています。ちょうど新年早々水爆実験の報道があり、大石さんの証言には注目が集まっており、共同通信社や新聞社などの方々も取材に見えました。



まず第五福竜丸展示館の学芸員・市田真理さんからビキニ事件の概要とその後の状況について、スライドを使ってわかりやすい説明があり、続いて大石さんから被爆当時のこと、帰国後の生活の変化などをお話し頂きました。乗組員のうち久保山愛吉さんは原爆症で亡くなり、他の人々も放射線障害に怯えながら、世間に隠れるように暮らしてきたとのこと。当時の政府はアメリカとの関係性を重視して、早くこの事件に決着をつけて、人々の記憶から消し去ろうとしたことなど。生々しく話してくださいました。今回の水爆実験成功という報道に対しても、「人々は水爆や核兵器の恐ろしさをもっとよく知るべきだ」と強い口調で仰いました。



2月12日、中2生は夢の島の第五福竜丸展示館に見学に行きました。展示してある第五福竜丸を実際に見て触れて、大石さんのお話を改めて実感できました。

### 2月～3月の学校紹介イベント

要予約

**2/20(土) 5年生(新6年生)対象 最新入試問題にチャレンジ**  
10:00～11:30 今年度入試で出題された国語と算数の問題を、解いてみましょう  
国語・数学担当の先生が解説してくれます

**3/5(土) 拡大版校長とH28年度入試問題にチャレンジ**  
10:00～11:30 今年度の4科の問題を1問ずつセレクトして、校長が解説します  
予約不要で、どなたでもご参加頂けます

## トピックス

## 中3への学習アドバイス

1月29日、高校生徒会主催の『中3への学習アドバイス』が行われました。この企画は昨年より行われています。高校進学を目前に控えた中3生に、上級生たちが勉強の仕方などをアドバイスし、高校生活に備えてもらおうという主旨で始まりました。



高校に入ると、学習内容やレベルがぐっと高度なものになります。一方でクラブ活動や行事の運営など、中学生の頃よりずっと責任が重くなり、時間の使い方も難しくなってきます。高校生徒会では高校生活への手引き『学習アドバイス』を作成し、教科ごとの学習の仕方やクラブと勉強との両立の仕方などについて全員に配付しました。その上で、中3クラスに高2生が直接出向き、グループごとに話し



合いました。「中3の時にやっておけばよかったと思うこと」として、「英単語を覚える」「勉強の習慣をきちんとつける」は、中3生にとっても大変参考になったようです。

三輪田では、中3の段階で一部高校の授業の先取りが行われていますが、それを踏まえて、さらに学力の伸長と定着を目指していきます。

### H28 第3回算数の問題より

最新

その他5%

3 右の図は、M地区の小学生に一番好きなスポーツのアンケートをとった結果をまとめたものです。

野球	水泳	サッカー	
a %	15%	b %	

aはbの $\frac{7}{9}$ にあたります。

(1) bはいくつですか。

式:

(2) 野球が好きな人の人数の $\frac{3}{5}$ は、水泳が好きな人の人数の $\frac{4}{5}$ より

162人多くなっています。M地区の小学生は全部で何人ですか。

式:

答え:(1) 45 (2) 1800人